

～'18 長州藩～

6/30に鹿児島県で酒米の田植えを行ないました。朝早くに出発し、お昼頃圃場に到着。田んぼ一面に全員で植えきって帰ってきました。天気が心配でしたが、途中少しの通り雨で済みました。鹿児島大学の学生と協力したり、休憩時には普段の生活の違いなどを主題に会話を楽しみました。鹿児島大学、山口大学、両方の学生を合わせると20人ほどいましたが、それでも時間がかかりました。休憩も含んで5時間程度。田植えに取り組みながら、「昔の人たちが毎年この作業に取り組んで、自分たちの食料を自分たちで生産していたのは凄いことなんだなあ」と思いました。現代でも山口から鹿児島へ行くのには時間がかかります。それを今回改めて実感したうえで、「薩長同盟を結んだ」という事実はどれだけ大きな出来事であるのか、歴史としての一面を超えて、物理的にもやはり大変なことであり、凄い出来事であることが実感できました。現代の交通を使って遠方同士で交流し、同じ目標を持っている今、とても有意義な時間を過ごさせてもらっているように感じました。



薩長学生交流

Show Our Campus !!



地図作成会議中

6月はプロジェクトを進めるための地盤固めをしていました。主に必要書類の作成や提出を行いました。また、ミーティングでは、現在学校から配布されている地図の問題点を明確化し、どのような地図を作るのかについて大まかな方向性を決めました。6月19日には、大学見学に来られたフランスからの留学生の方を学内案内しました。初め、人文学部について詳しく知りたいとのことでしたが、落ち着いた話を聞くと「英語の講義が多いところがいい」など、彼女の知りたいことが徐々に明確化していきました。そこで、人文学部以外にもこのような学部があると紹介すると国際総合科学部に興味を持たれ、詳しく知りたいと仰るので国際総合科学部の学務へご案内しました。本当に志望したい学部が決まり、知りたかった情報を得ることができて満足した様子で帰宅されました。一番親身になって話を聞いてくれてありがとう感謝され、とても嬉しかったです。今回、学生ならではの学内案内を実施することができたように思います。対話を通じた丁寧な学内案内の重要性を再確認しました。

山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

今月は天气管、尿素、明礬、ビスマスの結晶を作る実験を行い、化学実験の知見を深める試みを主に行いました。薬品の計量、温度や材料といった実験環境に対する姿勢など、課題が多く見えました。又、ニキシーのPRも兼ね先述の実験の中でも特に完成度の高い天气管を七夕祭で出店する事にしました。適当な材料の調達、宇部組と本部組の連絡の密度、費用の膨張などの、ニキシー計画の本格的な進行の上で課題となる点が幾つも見つかり、改善できた事は非常に大きな意義がありました。それからニキシー管のシンボルマークを作りました。これから使用していきたいと思っています。そしてメインのニキシー管の方も、製造に必要な機構の設計や進行計画を少し進めました。



シンボルマーク

第22回おもしろプロジェクト'17学長賞決定



6月15日(金)、「第22回おもしろプロジェクト'17」学長賞の表彰式が学長室において開催され、岡学長から受賞4プロジェクトの代表者へ表彰状と記念品が授与されました。今回の受賞プロジェクトは、「ICT救急改革」、「電脳飛行」、「いろとわ」、「召しませ、忍者飯!」でした。いずれも非常にユニークなプロジェクトで、地域医療改善、ものづくり、学生交流と、テーマバラエティにとんでいます。表彰式にて学長より、受賞者の学生に対して「プロジェクトの遂行にはいろんな人の支援があったはずですが、これからは感謝の気持ちを忘れずにいて下さい」とのお言葉を頂きました。また「人が本当に好きなことというのは、『創造』というものかもしれませんね」という話もあり、受賞者は大きくうなづいていました。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**